

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 6 部門第 3 区分  
【発行日】令和 6 年 7 月 17 日(2024.7.17)

【公開番号】特開 2022-18089(P2022-18089A)  
【公開日】令和 4 年 1 月 26 日(2022.1.26)  
【年通号数】公開公報(特許)2022-014  
【出願番号】特願 2021-112564(P2021-112564)  
【国際特許分類】

G 0 6 F 3/0484(2022.01)

B 4 1 J 29/42(2006.01)

B 4 1 J 29/46(2006.01)

H 0 4 N 1/00(2006.01)

10

【F I】

G 0 6 F 3/0484

B 4 1 J 29/42 F

B 4 1 J 29/46 Z

H 0 4 N 1/00 Z

【手続補正書】

20

【提出日】令和 6 年 7 月 8 日(2024.7.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

デバイスであって、  
プロセッサと

30

前記プロセッサに動作可能に接続された動作構成要素と、

前記プロセッサに動作可能に接続されたユーザインターフェースデバイスと、

前記動作構成要素を制御するデバイスメニューを表示するように、前記プロセッサを通じて前記ユーザインターフェースデバイスを制御するように適合されたメニュープログラムであって、前記デバイスメニューが、前記ユーザインターフェースデバイスに表示されるユーザ選択可能なメニュー選択を含み、前記デバイスメニューが、インターネットプロトコルと互換性がない、メニュープログラムと、

前記プロセッサに動作可能に接続された有線又は無線通信デバイスと、

前記デバイスメニューをインターネットプロトコルと互換性がないものからインターネットプロトコルと互換性があるブラウザ互換メニューに変換するように適合されたメニュー複製プログラムであって、前記ブラウザ互換メニューは、前記デバイスへの各機能性更新の後に前記メニュー複製プログラムによってのみ生成され、前記機能性更新のそれぞれは、機能セットの変更又は前記ユーザインターフェースデバイスに表示される前記ユーザ選択可能なメニュー選択への変更をもたらす、メニュー複製プログラムと、を備え、

40

前記有線又は無線通信デバイスが、前記ブラウザ互換メニューを外部デバイスに提供するように適合されており、

前記有線又は無線通信デバイスが、前記ブラウザ互換メニューに応答して、前記外部デバイスから外部デバイス入力を受信するように適合されており、

前記有線又は無線通信デバイスが、前記外部デバイス入力を、前記動作構成要素を動作させるために前記プロセッサに供給するように適合されている、デバイス。

50

## 【請求項 2】

前記ブラウザ互換メニューが、前記デバイスメニューと同じコンテンツを有する、請求項 1 に記載のデバイス。

## 【請求項 3】

前記有線又は無線通信デバイスが、前記外部デバイスとの有線又は無線通信を確立するように適合されており、前記外部デバイスの第 1 の外部デバイスに提供される前記ブラウザ互換メニューは、前記有線又は無線通信デバイスが前記第 1 の外部デバイスとの有線又は無線通信を確立した後に、前記メニュー複製プログラムによって生成される、請求項 1 に記載のデバイス。

## 【請求項 4】

前記ユーザインターフェースデバイスが、表示画面を含み、前記デバイスメニューが、前記表示画面上に表示され、前記ブラウザ互換メニューが、前記外部デバイスによって表示される、請求項 1 に記載のデバイス。

## 【請求項 5】

前記メニュー複製プログラムが、前記デバイスメニューをウェブページの形式の前記ブラウザ互換メニューに変換するように適合されている、請求項 1 に記載のデバイス。

## 【請求項 6】

デバイスであって、  
プロセッサと

前記プロセッサに動作可能に接続された動作構成要素と、

前記プロセッサに動作可能に接続されたユーザインターフェースデバイスと、

前記動作構成要素を制御するデバイスメニューを表示するように、前記プロセッサを通じて前記ユーザインターフェースデバイスを制御するように適合されたメニュープログラムであって、前記デバイスメニューが、デバイスメッセージを含み、前記デバイスメニューが前記ユーザインターフェースデバイスに表示されるユーザ選択可能なメニュー選択を含み、前記デバイスメニューが、インターネットプロトコルと互換性がない、メニュープログラムと、

前記プロセッサに動作可能に接続された有線又は無線通信デバイスと、

前記デバイスメニューをインターネットプロトコルと互換性がないものからインターネットプロトコルと互換性があるブラウザ互換メニューに変換するように適合されたメニュー複製プログラムであって、前記ブラウザ互換メニューは、前記デバイスへの各機能性更新の後に前記メニュー複製プログラムによってのみ生成され、前記機能性更新のそれぞれは、機能セットの変更又は前記ユーザインターフェースデバイスに表示される前記ユーザ選択可能なメニュー選択への変更をもたらす、メニュー複製プログラムと、を備え、

前記メニュー複製プログラムが、前記デバイスメッセージのうちの少なくとも 1 つを警告メッセージに変換するように適合されており、

前記有線又は無線通信デバイスが、前記ブラウザ互換メニューを外部デバイスに提供するように適合されており、

前記警告メッセージが、前記外部デバイスに、前記ブラウザ互換メニュー内の他のテキストの表現フォーマットに対して異なるフォーマットで前記警告メッセージを提示させる特徴を含み、

前記有線又は無線通信デバイスが、前記ブラウザ互換メニューに応答して、前記外部デバイスから外部デバイス入力を受信するように適合されており、

前記有線又は無線通信デバイスが、前記外部デバイス入力を、前記動作構成要素を動作させるために前記プロセッサに供給するように適合されている、デバイス。

## 【請求項 7】

前記ブラウザ互換メニューが、前記デバイスメニューと同じコンテンツを有する、請求項 6 に記載のデバイス。

## 【請求項 8】

前記有線又は無線通信デバイスが、前記外部デバイスとの有線又は無線通信を確立する

10

20

30

40

50

ように適合されており、前記外部デバイスの第 1 の外部デバイスに提供される前記ブラウザ互換メニューは、前記有線又は無線通信デバイスが前記第 1 の外部デバイスとの有線又は無線通信を確立した後に、前記メニュー複製プログラムによって生成される、請求項 6 に記載のデバイス。

【請求項 9】

前記ユーザインターフェースデバイスが、表示画面を含み、前記デバイスメニューが、前記表示画面上に表示され、前記ブラウザ互換メニューが、前記外部デバイスによって表示される、請求項 6 に記載のデバイス。

【請求項 10】

前記メニュー複製プログラムが、前記デバイスメニューをウェブページの形式の前記ブラウザ互換メニューに変換するように適合されている、請求項 6 に記載のデバイス。

【請求項 11】

方法であって、

プロセッサにより実行可能なデバイス動作プログラムによって動作構成要素を制御することと、

デバイスメニューを表示するように、前記プロセッサにより実行可能なメニュープログラムによってユーザインターフェースデバイスを制御することであって、前記デバイスメニューが、前記ユーザインターフェースデバイスに表示されるユーザ選択可能なメニュー選択を含み、前記デバイスメニューが、インターネットプロトコルと互換性がない、制御することと、

前記デバイスメニューにตอบสนองして、前記ユーザインターフェースデバイスへのメニュー選択を受信することと、

前記メニュー選択に基づいて前記デバイス動作プログラムによって前記動作構成要素を制御することと、

メニュー複製プログラムによって前記デバイスメニューをインターネットプロトコルと互換性がないものからインターネットプロトコルと互換性があるブラウザ互換メニューに変換することであって、前記ブラウザ互換メニューは、前記デバイスへの各機能性更新の後に前記メニュー複製プログラムによってのみ生成され、前記機能性更新のそれぞれは、機能セットの変更又は前記ユーザインターフェースデバイスに表示される前記ユーザ選択可能なメニュー選択への変更をもたらす、メニュー複製プログラムと、

有線又は無線通信デバイスによって、前記ブラウザ互換メニューを外部デバイスに提供することと、

前記有線又は無線通信デバイスによって、前記ブラウザ互換メニューにตอบสนองして前記外部デバイスから外部デバイス入力を受信することと、

前記有線又は無線通信デバイスから、前記外部デバイス入力を前記デバイス動作プログラムに供給することと、

前記外部デバイス入力に基づいて、前記デバイス動作プログラムによって前記動作構成要素を制御することと、を含む、方法。

【請求項 12】

前記ブラウザ互換メニューが、前記デバイスメニューと同じコンテンツを有する、請求項 11 に記載の方法。

【請求項 13】

前記有線又は無線通信デバイスによって、前記外部デバイスとの有線又は無線通信を確立することを更に含み、前記外部デバイスの第 1 の外部デバイスに提供される前記ブラウザ互換メニューは、前記有線又は無線通信デバイスが前記第 1 の外部デバイスとの有線又は無線通信を確立した後に、前記メニュー複製プログラムによって生成される、請求項 11 に記載の方法。

【請求項 14】

前記動作構成要素が、印刷構成要素を含む、請求項 11 に記載の方法。

10

20

30

40

50